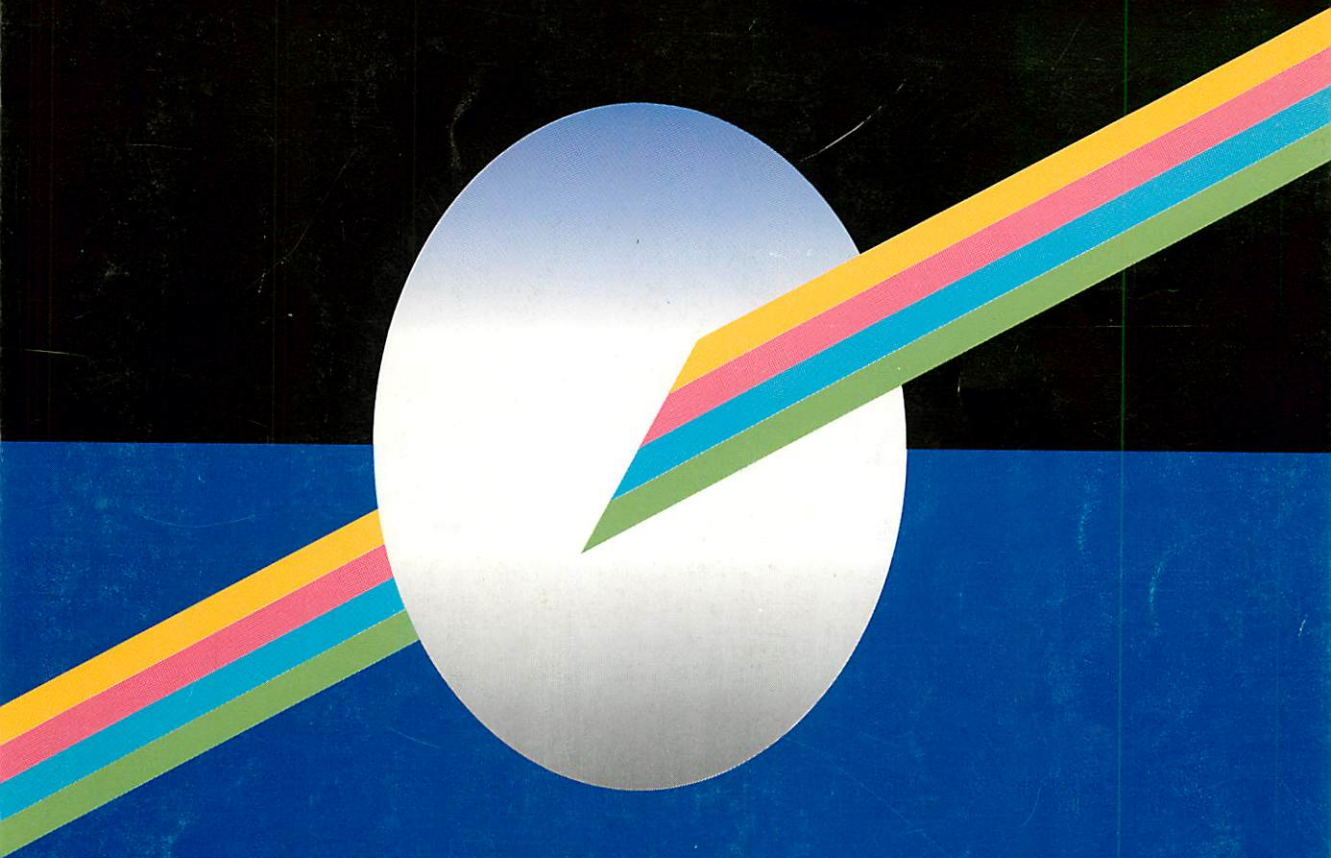


第23回徳島県芸術祭主催行事

平成元年度

第44回

徳島県展



第1期 ■ 書道

1989年11月11日(土)→16日(木)

第2期 ■ 日本画 ■ 洋画 ■ 写真 ■ 彫塑 ■ 美術工芸 ■ デザイン

1989年11月18日(土)→23日(木)

徳島県郷土文化会館(徳島市藍場町2丁目)

主催 ■

徳島県美術家協会 ■ 徳島新聞社 ■ 徳島県芸術祭執行委員会

第44回

〈平成元年〉

徳島県美術展

作品集

日本画
洋写
彫
美術工
書
デザイン
画
真
塑
芸
道
ン

主催

徳島県芸術祭執行委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後援

NHK徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

審査員

(敬称略)

①住所②所属団体・役職名③経歴・受賞歴など。



【日本画】平川 敏夫

①愛知県宝飯郡小坂井町小坂井字才ノ木20②創画会会員③新制作協会会員、現代日本美術展招待、日本国際美術展招待、近代日本画名作展招待、中日文化賞、愛知県教委文化功労者、豊橋文化賞、愛知県表彰などを受賞。



【書道】花田 峰堂

①大阪市中央区心斎橋筋2-8-2②松蔭女子学院大学教授、社団法人日本書芸院顧問、日展評議員③日本書芸院文部大臣賞、関西美術展読売賞、毎日書道展大賞、朝日書道展朝日新聞社賞、日展特選、大阪芸術賞などを受賞。



【洋画】赤穴 宏

①東京都目黒区平町2-1-19②新制作協会会員、武蔵野美術大学教授③北海道出身、東京高等工芸学校卒、昭和22年新制作展に初入選以来毎年出品、新作家賞、協会賞などを受賞、昭和31年新制作協会会員に推挙。平成元年安井賞展選考委員。



【書道】小山 素洞

①神戸市須磨区潮見台町2-1-3②一東書道会会長③日展会員、読売展総務、日本書芸院参事、全国書美術振興会参事、兵庫県書作家協会顧問、毎日展毎日賞、読売新聞社賞、日展特選、兵庫県および神戸市文化賞受賞。



【写真】高田 誠三

①大阪市阿倍野区昭和町1-9-26②大阪芸術大学教授、日本写真家協会JPS会員③大阪府立大学卒、会社研究室勤務のち写真家となる。日本の風景を主に撮影、五大陸大作家に選ばれてフランス、ベルギーで個展開催。



【書道】東地 滄厓

①東京都板橋区赤塚2-25-8②創立書道会常務理事③日展会員、毎日書道会総務、毎日書道展毎日賞・準大賞、日展特選2回。



【彫塑】山崎 猛

①茨城県那珂郡東海村石神外宿2462②一陽会常任委員、茨城大学教授③茨城大学卒、伊政府給費留学、神戸具象彫刻大賞、'85読売賞、ロダン大賞展特別優秀賞、現代日本具象彫刻展大賞、横山大観賞などを受賞。



【デザイン】河北 秀也

①東京都大田区田園調布2-8-16②東京芸術大学講師、宣伝会議コピーライター養成講座講師③福岡県出身、東京芸術大学卒、東京デザイナーズスペース、日本グラフィックデザイナー協会、日本パッケージデザイン協会各会員、'89デザインイヤー委員、グッドデザイン賞(Gマーク)審査員。



【美術工芸】三浦 小平二

①東京都国立市東4-2-22②日本工芸会理事③東京芸術大学助教授、日本伝統工芸展鑑査委員、日本伝統工芸展文部大臣賞、日本陶磁協会賞、現代日本陶芸展朝日新聞社賞など受賞。日本橋三越ほか個展9回。

審査員総評



〈写真〉

審査員 高田 誠 三

(大阪芸術大学教授)

今年六月に亡くなった岩宮武二氏とともに審査してから久しぶりに拝見させてもらった。全般に重量感のある作品群、しかも一つ一つの作品にヒシヒシとした情熱が感じられた。その一方で「見せてやろう」「目立とう」という気持ちが目立つのはちょっと残念。

ところで最近は高度なカメラの登場で「だれでも写せる」「カメラ任せの時代」といわれている。それだけに、いい被写体との出会いと、いかに表現するか求められている。これが写真に力を与える。幸い技術を駆使する作風は徳島の伝統かもしれないが、

これからはその上に撮影者の心、背景をも投影した作品づくりを期待したい。

県美術家協会会長賞の尾崎利男「追憶」は、一枚だけの方がいいと思う組作品の中で、ひと際光っていた。空間の取り方がうまいのはもちろん、この三枚で亡くなられた人への思い、そして悲しみが語られており、ストーリーがある。

特選、荒井賢治の「帰道」は、被写体が実にいい。恐らくインドへ旅した時の作品であろうが、右側三人のリアルさに対して、砂ぼこりの中に続くラクダ、そして人たちの姿が幻想的な世界へ誘う。光と影が見事。

柳本正の「ONE DAY」は、広角レンズを使うことによって不吉な鳥とされるカラスの存在感をより強調。そのカラスを主人公に「もしや後ろの橋の上を通過する白い車が「事故、に遭うのでは…」と想像を生む面白さがある。



〈彫 塑〉

審査員 山 崎 猛

(茨城大学教授)

作品の水準は、他県と比べて非常に高いと感じた。したがって、頭像ぐらいでは、入選は難しい。全体に立像が目立ち、量感のある素晴らしい作品も多かったが、習作の印象を受けた。もう一歩進んで、オリジナリティーを発揮してほしい。

素材は木、鉄、石、プラスチック、石こうなどさまざまなものが見られた。素材感を巧みに表現しようとするチャレンジ精神がうかがえ、今後に大きな希望もてる。

ただ、石こうを使った場合、着色によってほかの素材感を出そうとしがちだが、技巧に走らず、本来もつ素材感を大切にしてい

ほしい。

作品の中に抽象作品が何点も見られほっとしている。これから抽象作品が増えてくるきざしを感じた。

等身大の具像作品が多かったが、デッサン力を付けることに力を注いでもらいたい。デッサン力を養えば、全体のバランスがしっかり把握でき、構成力の向上につながる。

県知事賞の福島隆資「森の精」は、樹脂に着色したと思われる抽象作品。りょう線をうまく組み合わせしており、高い構成力、彫刻のもつ美しさを強く感じさせてくれる。

準特選、山上正一の「おんな」は、大理石の美しさを巧みに表現している。構成にオリジナリティーもあり、将来が楽しみ。作品のサイズがやや小さかったのが惜しまれる。小林正則「立つ」は、力強い作品で、作者の制作態度に好感もてた。ただ、上半身の素晴らしさに比べ、下半身が少し弱いところが残念。全体のバランスがしっかりすれば、もっと良い作品になるだろう。

写真



特別出品 沼島しぐれる 福島 正仁



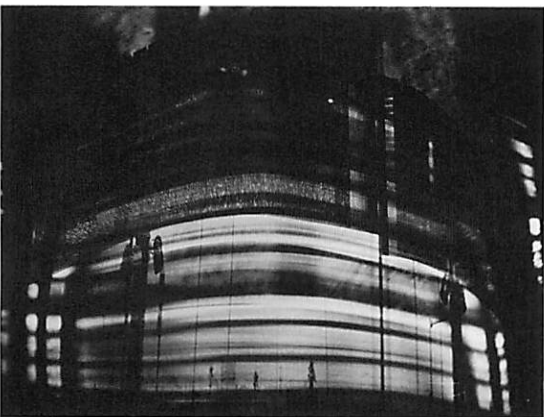
招待 漂着 木田 英之



招待 オーロラ 増田 清次



招待 秋ふかし 西條 征二



招待 街 井上 光雄



招待 コレま一度顔を！ 勝西 雅夫



招待 浮き雲 藤井 梵



招待 岩屋寺石仏 酒井 博司



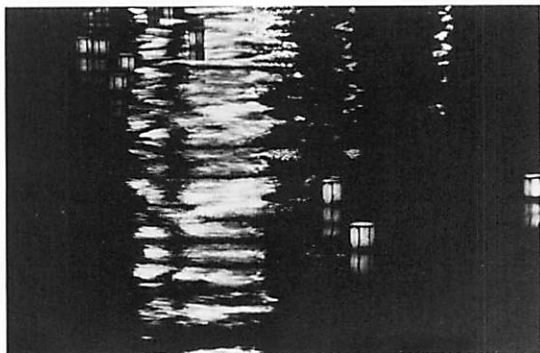
招待 盆おどりの夜 武内 亨



招待 RAKUEN・マハラジャ 三好 和義



招待 人形曾根崎心中 榎 魏



招待 精霊流し 上野 照文



招待 椿泊にて 森 賢一



無鑑査 にわか雨 前浦 芳久



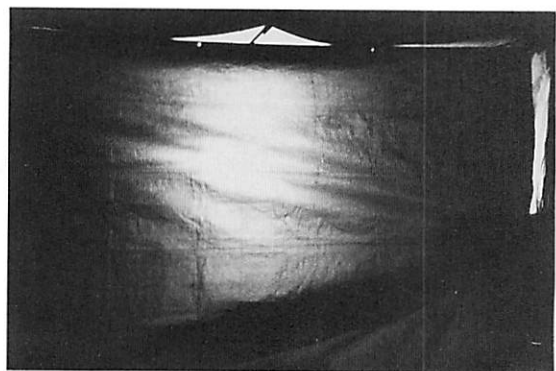
招待 ヒロイン 橋本 圭祐



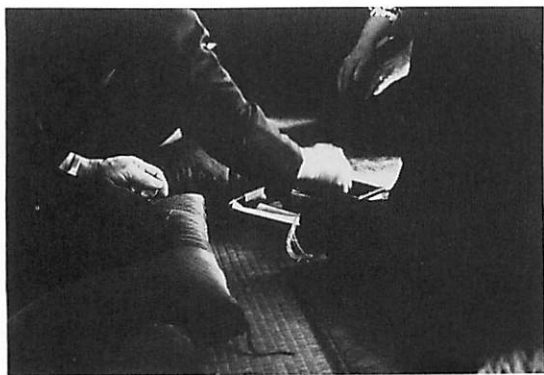
無鑑査 吉野川PM 11:00 古井 謙吉



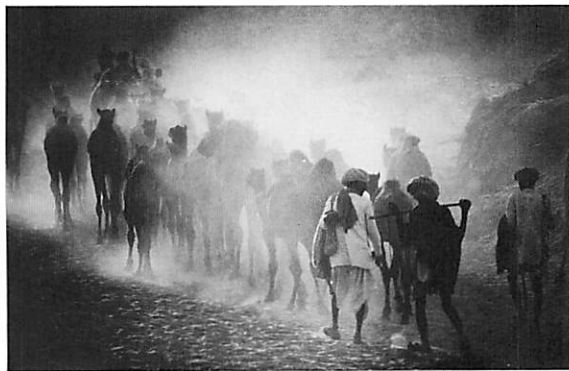
招待 華 安長 剛



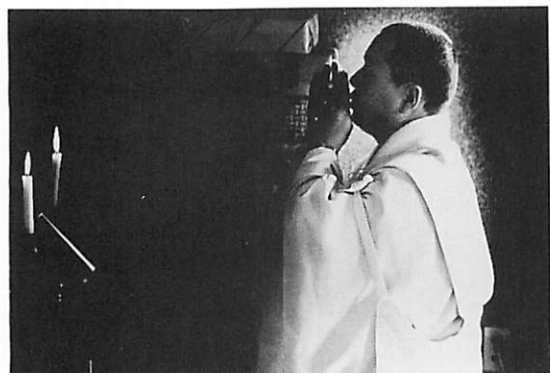
無鑑査 夜 井藤 光章



特選・県美術家協会会長賞 追憶 尾崎 利男
(3枚組)



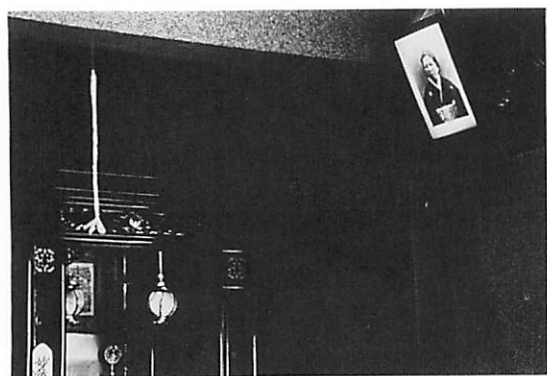
特選 帰り道 荒井 賢治



同上



特選 ONE DAY 柳本 正



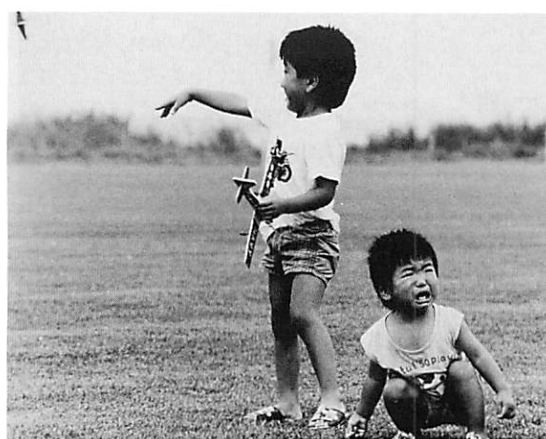
同上



準特選 のら犬(A) 中川定典



準特選 道 関口 務



準特選 とられたよーッ 高木 勝治



準特選 待つ日 佐野 辰夫



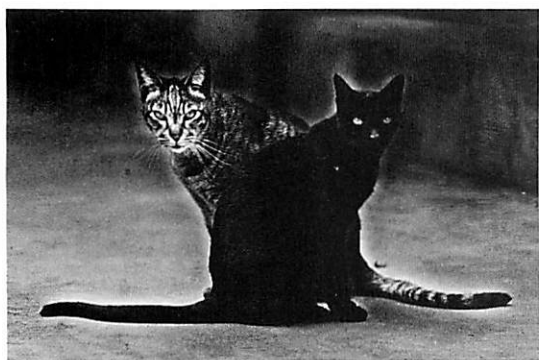
準特選 秋日 森住 博 (2枚組)



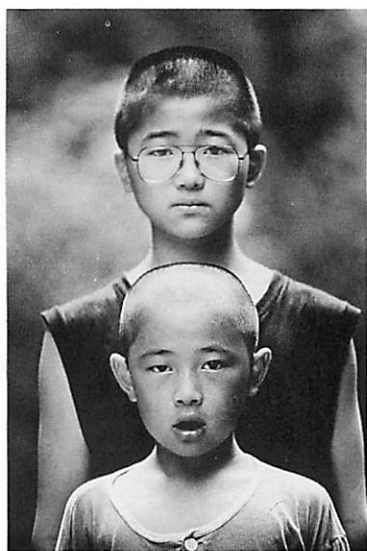
準特選 彩 船越 正文



同上



準特選 猫 大和 健司



準特選 兄弟 中野 健吉

第44回県美術展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫塑	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		76	284	871	61	119	974	106	2,491
人数		66	201	157	43	82	644	78	1,271
入選	率	60.5%	38.7%	24.0%	59.0%	59.7%	47.3%	56.6%	39.9%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	3	1	2	6	2	19
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	41	102	198	33	66	442	55	937
	計	46	110	209	36	71	461	60	993
落選	率	39.5%	61.3%	76.0%	41.0%	40.3%	52.7%	43.4%	60.1%
	落選	30	174	662	25	48	513	46	1,498
招待等	招待	8	11	15	6	8	32	1	81
	無鑑査	2		3		1	4	1	11
	特別出品		3	1	2		3		9
	賛助出品	4	17			1		1	23
	計	14	31	19	8	10	39	3	124
展示数		60	141	228	44	81	500	63	1,117